



◎ 夏用ユニフォーム

通気性に優れ、ポケットの数を増やしてあります。  
 ボタン類はスナップ式に統一し、手袋を装着したままでも着脱できるようになっています。  
 ズボンには膝パットが内蔵されています。

- ・ベストは職種別に色分けされ、視認性を高めています。
- ・このベストの色は、医師：あか、看護師：みどり、調整員：きいろが基準となっています。

◎ ウィンドブレーカー・雨衣

男性隊員が着用しているのは雨衣です。耐水性に優れ、視認性が高い物を採用しました。  
 女性隊員が着用しているのはウィンドブレーカーです。  
 多少の雨を防ぎ、耐寒性があります。  
 それぞれの反射材は、暗所や道路での活動を想定し、800m先の懐中電灯でも反射するほどの高輝度になっています。



◎ 防寒着

東日本大震災での活動で、厳冬期の屋外でヘリコプターを待つなど長時間待機を強いられた教訓から採用された、冬場の屋外着として国内最高峰の防寒性能を持つ防寒着です。  
 この服装で医療活動は行ないませんが、隊員の健康管理のために配備しています。



隊員は、専用ユニフォーム、手袋、帽子、ベスト、ウエストポーチ等の付属装備品を付け、必要に応じてヘルメットを装着します。  
 また、隊員の靴はつま先と靴底に芯が入っている安全靴で、荒れた地面から隊員を保護します。  
 これらDMATの安全装備は運営協議会によって選定され、各病院に配備しています。

## 11. DMATユニフォーム

東京DMATは、統一されたユニフォーム、安全具を装着して出場します。

24時間、365日、天候の区別なく出場に備えるため、各季節・天候に合わせた装備を用意しています。

とりわけ、視認性に重点が置かれ、夜間でもはっきりと認識できるように工夫されています。

